



オモテサンドウ シメス

明治神宮が造営されて約百年がたった。

うっせみの代々木の里はしづかにて都のほかのこちこそすれ

（明治天皇）

明治天皇がお詠みになられた俳句からわかるように、かつて表参道は静かで穏やかな場所だったが、今日ではこんなにも賑やで活発な場所になりました。

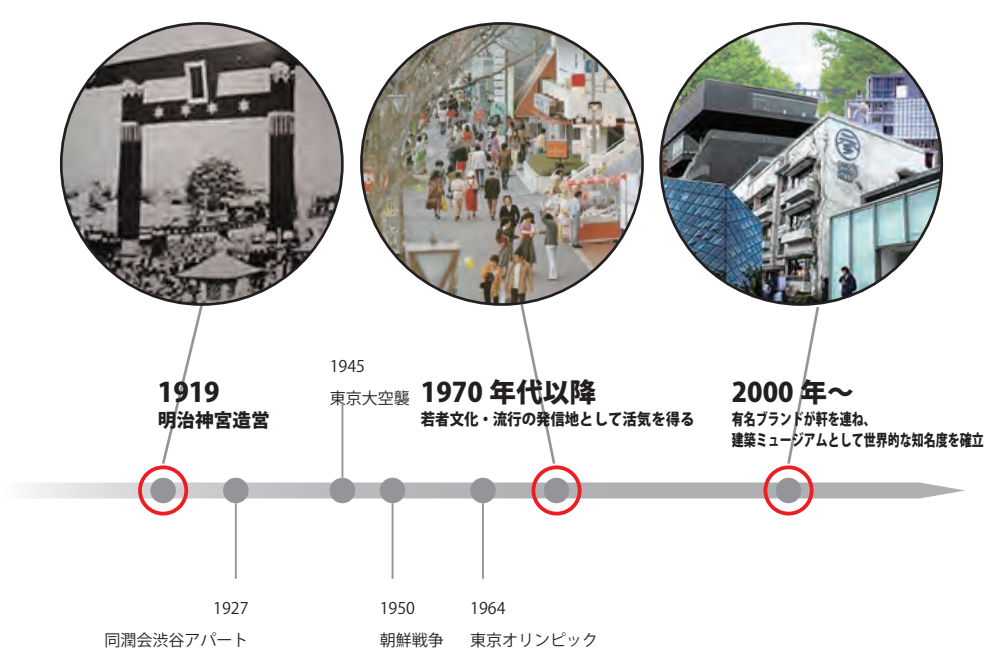
つまり、表参道は時代に応化してきたことで時代を象徴する多彩な場所がある。

表参道界隈にちりばめられたそのような場所 今注目されているショップやカフェなどの、まちを彩る様々なものを《示す建築》を提案する。



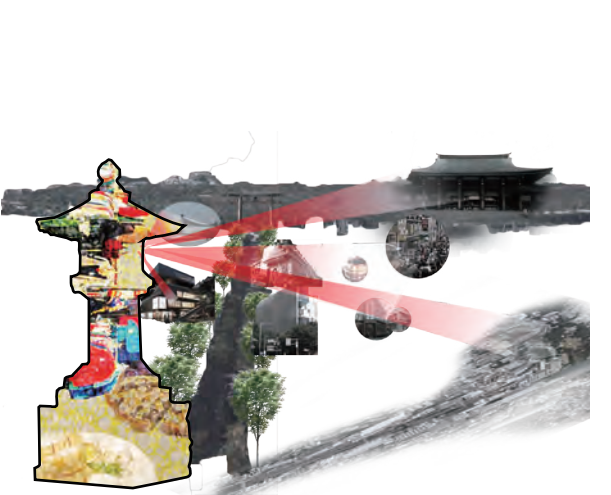
00. 応化し時代を彩り続ける【表参道】

今から約100年前、明治神宮の造営により表参道、表参道界隈の基盤が生まれた。その後、関東大震災や第二次世界大戦などで大きな被害を受けるも、ワシントンハイツによってアメリカ文化の流入、そして若者文化が興隆した。このように時代毎に応化し続けることで今の多彩な色をみせる賑わいのある街としての地位を現在も保ち続けている。



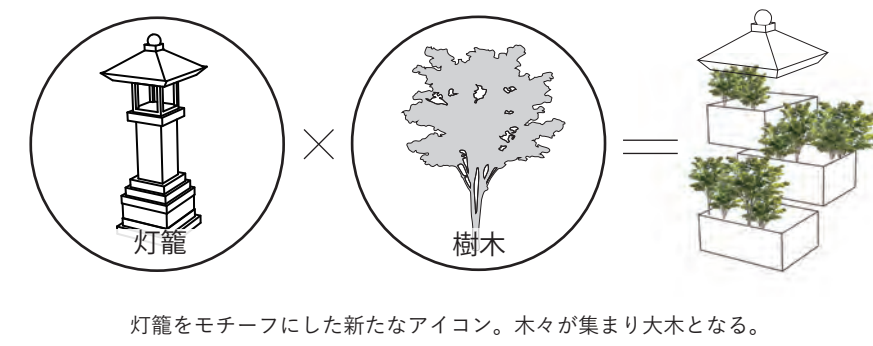
01. まちを示す建築

時代に応化してきたことで、表参道には各時代を彩った多くの場所がある。表参道界隈にちりばめられたそのような場所、今注目されているショップやカフェなどの、まちを彩る様々なものを《示す建築》を表参道の起点である交差点に設計する。

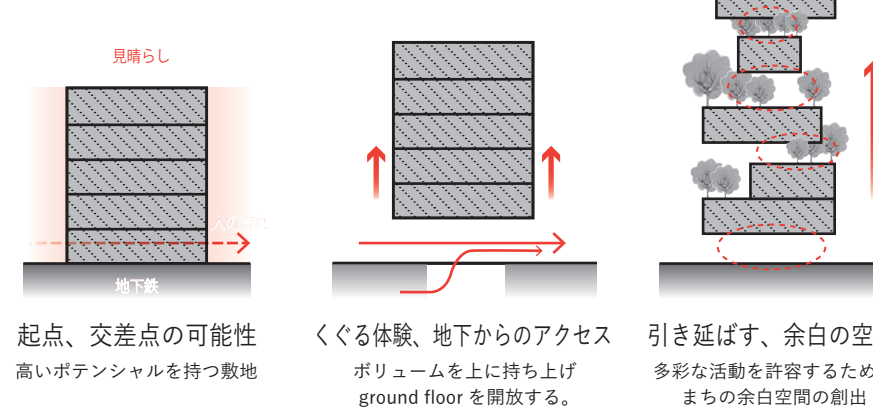


02. トウロウ 表参道の玄関口。起点となる場所の象徴

【象徴】起点となる場所としてのアイコン



【玄関口】外部と表参道をつなぐ場所。地下鉄表参道駅との連結



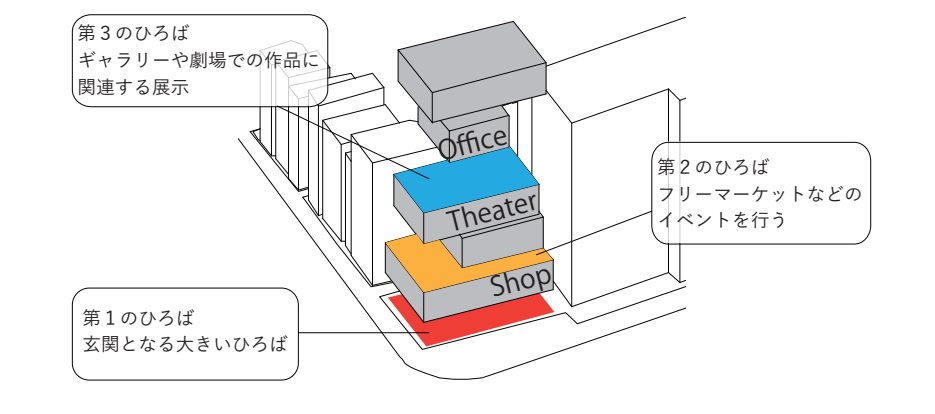
03. スポンジ 点が人々の目をつくり、マチを彩る。路面店の存在

【求心性】情報を吸収するスポンジのような媒体

サーチライトでスポットを当てよう！この建築は表参道の情報を日々発信する。この建築はまち中とリンクし、点々と影響し合う「求心性」を持つのである。



【3つのひろばの使われ方】



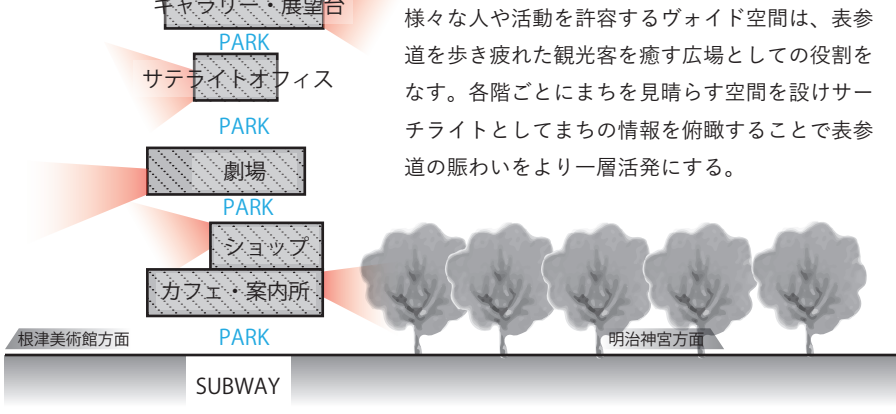
04. サーチライト 表参道界隈に向けた情報発信点

【選心性】まちへの発信

サーチライトでスポットを当てよう！この建築は表参道の情報を日々発信する。この建築はまち中とリンクし、点々と影響し合う「選心性」を持つのである。



【ヴォイドがつくる許容空間】



長手断面図 Scale=1:300